

## 1. 研究業績

### a. 論文

#### a-1. 査読付き学術論文（国際学会の査読付き Proceedings も含む）

##### a-1-1. 英文のもの

- Abe T, Fujii K, Hyodo K, Kitano N, Okura T: Effects of acute exercise in the sitting position on executive function evaluated by the Stroop task in healthy older adults. *J Phys Ther Sci*, 30(4), 609-613, 2018-4.
- Koda M, Kitamura I, Okura T, Otsuka R, Ando F, Shimokata H: Men who were thin during early adulthood exhibited greater weight gain-associated visceral fat accumulation in a study of middle-aged Japanese men. *Obesity Science & Practice*, 4(3), 289-295, 2018-5.
- Abe T, Fujii K, Seol J, Fujii Y, Joho K, Sato A, Kim M, Okura T: Driving frequency associated with deficits in lower extremity function, dynamic vision, and physical activity in Japanese older adults. *J Transp Health*, 9, 282-287, 2018-6.
- Abe T, Seol J, Kim M, Okura T: The relationship of car driving and bicycle riding on physical activity and social participation in Japanese rural areas. *J Transp Health*, 10, 315-321, 2018-9.

##### a-1-2. 和文のもの

- 佐藤文音, 神藤隆志, 藤井啓介, 北濃成樹, 阿部巧, 慎少帥, 薛載勳, 城實佳也, 藤井悠也, 金美珍, 大藏倫博: 高齢ボランティアによるスクエアステップの指導が女性高齢者の下肢機能に与える影響—運動指導の専門家による指導との比較検討—. *教育医学*, 64 (2), 134-143, 2018年10月.
- 田川要, 赤澤暢彦, 吉川徹, 鈴木貴視, 森田匡彦, 大藏倫博, 前田清司: 低体重高齢者における低強度レジスタンストレーニングとL-シトルリン含有組成物摂取の併用が中心血行動態に及ぼす影響. *健康支援*, 20 (2), 183-190, 2018年9月.
- 藤井啓介, 藤井悠也, 北濃成樹, 神藤隆志, 佐藤文音, 城實佳也, 薛載勳, 大藏倫博: 地域在住高齢者における運動実践と抑うつとの関連性—世帯構成および運動仲間の有無に着目した検討—. *ヘルスプロモーション理学療法研究*, 153-162, 2019年3月.

#### a-2. その他の論文（査読無し論文など上記 [a-1] に含まれない論文等）

- 大藏倫博, 堀田和司, 北濃成樹, 藤井啓介: 独居生活が高齢者の身体機能・認知機能・抑うつに及ぼす影響に関する縦断疫学研究. *公益財団法人三井住友海上福祉財団2016年度研究助成研究結果報告書集—交通安全等・高齢者福祉—*, 22, 83-85, 2018年10月.
- 大藏倫博: 運動機能を改善させるために必要な運動生理学—筋力向上の観点から—. *ディサースリア臨床研究*, 8 (1), 49-54, 2018年12月.

### c. その他

#### c-1. 研究発表（開催地も記入して下さい）

##### c-1-1. 国際学会（要件：50人以上参加，3カ国以上参加，1日以上開催のすべてを満たすか，国際団体連合UIAまたは国際会議協会ICCA加盟団体の会議）

##### c-1-1-3. 一般口述発表（口頭発表）

- Fujii Y, Fujii K, Seol J, Kitano N, Okura T: The role of exercise partner in sustained exercise participation among community-dwelling older adults: a 3-year longitudinal study. The 7th International Society for Physical Activity and Health Congress, England, 2018-10.
- Seol J, Furu K, Abe T, Fujii K, Fujii Y, Inou T, Okura T: Relationship between the combination of social relationship and physical activity and difficulty initiation sleep in older people. The 7th International Society for Physical Activity and Health Congress, England, 2018-10.

##### c-1-1-4. ポスター発表

- Fujii Y, Fujii K, Isono K, Otsuki N, Joho K, Okura T: The Effects of Pilates on cognitive functions in middle-aged women. American College of Sports Medicine's 65th Annual Meeting, USA, 2018-5.
- Abe T, Seol J, Matsuda H, Fujii Y, Okura T: Effects of main transportation mode on physical activity and frailty in Japanese older adults living in rural areas. 7th International Society for Physical Activity and Health Congress, England, 2018-10.
- Inoue T, Seol JH, Abe T, Nagata M, Okura T: Relationship between the combination of leisure-time physical activity and fear of falls on physical function in older people. The 7th International Society for Physical Activity and Health Congress, England, 2018-10.
- Seol J, Furu K, Abe T, Fujii K, Fujii Y, Inou T, Okura T: Relationship between the combination of social relationship and physical activity and difficulty initiation sleep in older people. The 7th International Society for Physical Activity and Health Congress, England, 2018-10.
- Yoon J, Okura T: A game-like dual-task exercise may save the oldest-old women from the cognitive decline. The Gerontological Society of America's 68th Annual Scientific Meeting, USA, 2018-11.

#### c-1-2. 国内学会・研究会（上記「国際学会」の要件に当てはまらない学会を含む）

##### c-1-2-2. 特別・招待講演

- ・大藏倫博：運動によるフレイル予防の最前線 ～理論と実践法の紹介～ 文部科学省革新的イノベーション創出プログラム OOI STREAM 「食と健康の達人」 拠点成果の紹介。第 72 回日本栄養・食糧学会大会，岡山，2018 年 5 月。
- ・大藏倫博：フレイル・サルコペニアと摂食嚥下障害—スポーツ科学の研究者の立場から—。第 4 回日本ディサースリア学術集会，東京，2018 年 7 月。
- ・大藏倫博：運動機能を改善させるために必要な運動生理学—特に筋力向上の観点から—。第 4 回日本ディサースリア学術集会，東京，2018 年 7 月。
- ・大藏倫博：筋肉、運動機能評価の最前線—サルコペニア・フレイル対策における運動機能評価の意義～身体的・精神心理的・社会的フレイルの観点から—。第 5 回日本サルコペニア・フレイル学会大会，東京，2018 年 11 月。

#### c-1-2-3. 一般口述発表（口頭発表）

- ・角田憲治，相馬優樹，北濃成樹，神藤隆志，大藏倫博：高齢者における歩行および自転車移動許容距離の規定要因に関する大規模調査。日本体育学会第 69 回大会測定評価専門領域，徳島，2018 年 8 月。
- ・藤井悠也，藤井啓介，薛載勳，北濃成樹，城實佳也，大藏倫博：仲間との運動実践が高齢者の抑うつ傾向発生に及ぼす影響：3 年間の縦断研究。第 73 回日本体力医学会大会，福井，2018 年 9 月。
- ・薛載勳，藤井悠也，城實佳也，井上大樹，阿部巧，北濃成樹，大藏倫博：座位行動と身体活動が高齢者の睡眠の質に及ぼす影響。第 73 回日本体力医学会大会，福井，2018 年 9 月。
- ・大藏倫博，阿部巧，井上大樹，高木朝加：手指巧緻性動作を活用した新たな認知機能評価・訓練機器の開発—早期予防を目指した基礎的研究。第 8 回日本認知症予防学会学術集会，東京，2018 年 9 月。
- ・Seol J, Fujii Y, Park I, Suzuki Y, Kawana K, Fukusumi S, Okura T, Satoh M, Tokuyama K, Kokubo T, Yanagisawa M: Different effects of orexin receptor antagonist and GABAa agonist on physical and cognitive functions. The 7th Annual IIIS Symposium, Tokyo, 2018-12.
- ・薛載勳，藤井悠也，朴寅成，鈴木陽子，川名ふさ江，大藏倫博，佐藤誠，徳山薫平，小久保利雄，柳沢正史：オレキシン受容体拮抗薬 Suvorexant の服用が強制覚醒後の身体・認知機能に及ぼす影響。International Symposium on LIVING IN SPACE 2019 from basic biology to the MOON, MARS and beyond, Kyoto, 2019 年 3 月。

#### c-1-2-4. ポスター発表

- ・藤井啓介，薛載勳，藤井悠也，堀田和司，大藏倫博：地域在住高齢者における軽度認知障害と高次生活機能との関連性。第 52 回日本作業療法学会，愛知，2018 年 9 月。
- ・金美珍，阿部巧，藤井啓介，大藏倫博：高齢者の筋量および筋力と認知機能との関連性。第 73 回日本体力医学会大会，福井，2018 年 9 月。
- ・加藤克文，藤井啓介，藤井悠也，大藏倫博：余暇・家庭内・仕事関連活動と新規要介護発生との関連性に与える性および年齢の影響。第 73 回日本体力医学会大会，福井，2018 年 9 月。
- ・劉珏，藤井啓介，井上大樹，薛載勳，藤井悠也，城實佳也，大藏倫博：複合運動プログラムが地域在住高齢者の認知機能に与える影響：認知機能水準別の検討。第 73 回日本体力医学会大会，福井，2018 年 9 月。
- ・井上大樹，阿部巧，薛載勳，城實佳也，大藏倫博：靴のサイズ適合性が高齢者の静的バランス能力に与える影響。第 73 回日本体力医学会大会，福井，2018 年 9 月。
- ・城實佳也，藤井啓介，藤井悠也，阿部巧，薛載勳，大藏倫博：地域で開催される運動教室やサークルに参加する男性高齢者の身体・認知機能の特徴。第 73 回日本体力医学会大会，福井，2018 年 9 月。
- ・城實佳也，藤井啓介，阿部巧，武田文，大藏倫博：高齢者におけるストレッチング実践の有無および非実践者の「やらない理由」の性差。第 77 回日本公衆衛生学会総会，福島，2018 年 10 月。
- ・Seol J, Fujii Y, Park I, Suzuki Y, Kawana K, Fukusumi S, Okura T, Satoh M, Tokuyama K, Kokubo T, Yanagisawa M: Different effects of orexin receptor antagonist and GABAa agonist on physical and cognitive functions. The 7th Annual IIIS Symposium, Tokyo, 2018-12.
- ・Seol J, Fujii Y, Park I, Suzuki Y, Kawana K, Fukusumi S, Okura T, Satoh M, Tokuyama K, Kokubo T, Yanagisawa M: Different effects of orexin receptor antagonist and GABAa agonist on physical and cognitive functions assessed after nocturnal forced-awakening. International Symposium on LIVING IN SPACE 2019 from basic biology to the MOON, MARS and beyond, Kyoto, 2019-3.

#### c-4. 研究成果による受賞

- ・第 8 回日本認知症予防学会学術集会「浦上賞」（大藏倫博，阿部巧，井上大樹，高木朝加：手指巧緻性動作を活用した新たな認知機能評価・訓練機器の開発：早期予防を目指した基礎的研究），2018 年 9 月。
- ・日本体育学会第 69 回大会測定評価専門領域「優秀発表」（角田憲治，相馬優樹，北濃成樹，神藤隆志，大藏倫博：高齢者における歩行および自転車移動許容距離の規定要因に関する大規模調査），2019 年 3 月。

#### c-5. 公的機関あるいは企業等との共同研究，委託研究，これらからの研究助成，奨励金等（科研費を除く）

- ・「高齢者の快適な睡眠獲得のための身体活動条件の解明—低強度身体活動の実践時間帯に着目した生理学的検討」（公益財団法人明治安田厚生事業団）

- ・「高齢者を対象とした運動教室内の参加者間のつながりは運動教室参加による心理的効果を高めるか？ーネットワーク解析による検討ー」（財団法人 明治安田厚生事業団）
- ・「地域高齢者の身体活動促進と普及・定着を目指す“シニアストレッチトレーナー”養成法の開発とその効果検証ー自治体と連携した自宅でのストレッチ実践を推進する高齢ボランティア養成は健康増進施策の一翼を担い得るかー」（公益財団法人 笹川スポーツ財団）

#### 4. 社会貢献活動

##### a. 社会貢献活動による受賞

##### b. 公共機関あるいは私企業等の委員，役員（平成 30 年度だけでなく，それ以前からの継続中のものも含む）

- ・特定非営利活動法人スクエアステップ協会理事長（2007 年 4 月～）
- ・日本体育測定評価学会理事（2009 年 4 月～）
- ・日本健康支援学会理事（2013 年 4 月～）
- ・茨城県笠間市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員長（2016 年 12 月～）
- ・茨城県かすみがうら市健康増進計画策定委員会副委員長（2016 年 12 月～）
- ・スポーツ庁健康スポーツ課・参事官付技術審査委員（2017 年 4 月～）
- ・一般社団法人マットス協会理事長（2017 年 6 月～）
- ・茨城県笠間市介護老人福祉施設整備事業者選定委員会委員及び地域密着型介護サービス事業者選定委員会委員（2018 年 5 月～2018 年 12 月）

##### c. ボランティア活動

##### c-1. 日常的，定期的な地域のスポーツクラブ等でのコーチや指導

- ・スクエアステップ運動リーダー養成講習会：茨城県・笠間市：5 月～7 月および 10 月～11 月（それぞれ毎週 1 回：全 10 回）
- ・男性のからだづくり運動教室：茨城県・笠間市：4 月～6 月（毎週 1 回：全 11 回）
- ・元気いきいき教室：茨城県・笠間市：6 月および 9 月～11 月（毎週 1 回：全 15 回）
- ・認知機能低下の可能性のある高齢者を対象とした MCI 教室：茨城県・笠間市：2019 年 1 月～3 月（毎週 1 回：全 11 回）

##### c-4. その他（詳しくお書きください）

・65 歳以上の高齢者約 600 人を対象とした「笠間長寿健診（認知機能および体力測定会）」の実施：茨城県・笠間市：6 月～7 月（全 12 回）

##### d. 社会貢献活動に関する新聞・テレビ・ラジオ等の掲載・放送

- ・「GetActive!Singapore 2018 における日本のスポーツコンテンツ（スクエアステップエクササイズ）の紹介」（日本スポーツ振興センター（JSC），2018 年 8 月 4 日）

#### 6. 特許，実用新案

- ・「認知機能評価システムおよび判定装置製造方法」，特許第 6341564 号，2018 年 5 月 25 日
- ・「認知機能評価装置・認知機能評価方法及びプログラム」，特願 2018-225930，2018 年 11 月 30 日